



英國アンティークス *Eikoku Antiques*



Meissen Chelsea Collection  
マイセン チェルシー コレクション

お客様各位

このたびはこちらをお読みいただきありがとうございます。英國アンティークスでマイセンのアンティークをお買い求めいただくということは、単に「2本の剣」(マイセンのマーク)の付いたブランド品を買うということとは異なります。

一つには、贋作が多く、またその真贋を見極めることが極めて難しいマイセンのアンティーク作品を「安心して」お買い求めいただけるという点です。以下詳述いたしますように、他のお店では追随できない信頼性の確保に専心しております。

もう一点、より重要なことは、作品の歴史、意味合い、そして芸術性を十分理解した上で新たなオーナーになり、真正アンティークと共に生活する楽しみ（新しい趣味）を得るという点です。この点は英國アンティークスがご推奨してまいりました「ことはじめ・小さなコレクション」の気持ち（精神）と同じです<sup>1</sup>（注1）。どうぞ、ご一読くださいませ。

<sup>1</sup> わたくしども英國アンティークスがご推薦いたします、本当のアンティークカップ&ソーサー・コレクション（蒐集）とは、まずその作品について自分自身で知ってゆこうとすること。すなわち、その歴史や、形や、色や、出来、オリジナリティーや、世間での評価をちょっと調べてみて、今度は自分自身による評価を蓄積してゆくことでございます。さらに、その古い作品と一緒に暮らし、優しく労わってやること、愛着や情を蓄積してゆくこと。

## PROVENANCE (今回のコレクションの経緯・由来)

この程ご紹介させていただきます作品（特記されたものを除きます）の多くは、ロンドンの高級住宅街チャルシー地区のエスティートから譲り受けたものです（Chelsea Collection チャルシー・コレクションと表記）。そもそもは第一次・第二次世界大戦をご経験された女王陛下軍隊指揮官とハンガリーの由緒あるご家系から嫁がれたご夫妻が所有されていた作品です。そのほとんどは夫妻が両家のご両親から引き継いだものとのことです（そのため、ハンガリーはヘレンドの作品も含まれておりました）。



ロンドン・チャルシー地区はテムズ川に面したとても高級感の漂う地域です。1800年代の後半には「ブラック・ライオン」などのガーデン・ティー・プレース（社交場）で上・中流階級の方々がアフタヌーンティーを楽しめていたようです。英國きっとの画家ターナーの家（右下）も現存しております。

ご夫妻は戦後しばらくしてから軍隊や政治関係者との大きなパーティーの時に幾度かプレートやカップをご使用になられたとのことですが、想像がつきますとおり普段はキャビネットの中にしまわれておりました。マイセン、すなわちドイツの作品でございますので、軍や政治関係上1900年代の前半にはあまりディスプレーできる作品ではございませんでした。それも手伝うことでしょう、110～150年を超えるアンティーク食器類としては非常に綺麗なコンディションを保っております。もっともこの点は堅牢な素地としっかりとした絵付を誇る真正アンティーク・マイセンの作品自体にも負うところが多いと存じます。

---

くことです。そして、最後には、そうして集まったコレクションをさらに次の世代に受け継いでゆくことであろうと思っております。美しく、知的で、ゆっくり楽しめる趣味の始まりです。



## QUALITY (詳細な品質検査)

多くのアンティーク屋さんやオンラインショップでは、「2本の剣が付いているからマイセンである」と、或は「○○形の2本の剣だから○○時代の物だ」との誤った安易な説明が目立ちます。あるいは、少し注意深いディーラーでさえ「マークがアンダー・グレイズ（釉薬の下にトレードマークが付けられているもの）だから真正アンティークだ」と説明されるのですが、西洋アンティーク・カップの権威・和田泰志先生 『アンティーク・カップ&ソウサー：色彩と形が織りなす世界』でもご指摘の通り、これも誤説にすぎません。アンティーク・マイセンは専門家でも特別な検査や調査をしない限り真贋の判断はつきません。一見信頼できそうで有名なアンティーク屋さんでも、何の調査方法や証拠も示さずに「c1880」(cはcirca おおよそとか、頃の意味)などとされるのですが、このレベルの判断は以下のようないくつかの要素を考慮する必要があります（このような調査を経ているか聞いてみてください）。今日オンライン販売やネットショップで安易にマイセンとして多くの作品が販売されておりますが、どうぞ十分ご注意くださいませ。

### (1) 磁胎・刻印・マイセン・トレードマーク

わたくしでも先ずは磁胎・素地のクオリティーを検査し、作成年代の推定に役立てるとともに、作品がいまだに堅牢で今後何百年も確かなクオリティーを保ち続けるであろうことを確認しております。普段英国窯の作品を多く取り扱っております私どもにとりまして、マイセンの磁胎の堅牢さには驚かされます。



コレクションの中からチップの入ったサンプルを利用し、顕微鏡などで磁胎の要素や透明性、均等性、割れの「走り（方向性）」などを検査しています。

それから、磁胎に付された刻印やその他の印について特殊な光りを利用してアイデンティフィケーション（存在確認）とその意味の検証を行っています。マイセン社に30年勤務しているダイレクター（マイセン本社及びロンドン）や世界最高峰のオークショナー・サザビーズ陶磁器担当員（ロンドン）との調査を通じ、一般に公開されていない社内文書・データとの突合を実施し各種マーク（印）の内容の分析に努めました。これらのアンティーク・マークはマイセン社内でも不知・不明の物が多く、大変実りの多い作業でした。社内秘のためにネット上で公開できない情報が多いのですが、私どもが責任をもって作品のクオリティーを検査している証です。



特殊な光りを強調することにより、裸眼では見えないような刻印やその他のマークまで浮き立たせます（左）。そして浮き立たせたマークの種類はチェルシーコレクションだけでも6種類に上ります（中）。私どもではそのマークをマイセン社の担当者と共に内部の資料と突き合わせながら情報の特定に努力いたしました。例えば、左の写真の上方63番（緑色）と右の写真46番（黒）はそれぞれのアーティスト（絵付師）個人に与えられた特有番号です。

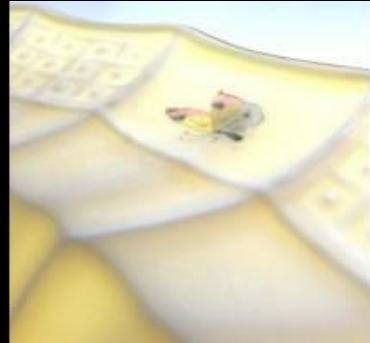
今回ご紹介いたします作品の多くには、一般に1815年から1924年までに作られた作品につけられるとされる「アンダーグレイズのコバルトブルー、二本のクロス・スウォード（頭付き）」トレードマークが付いております（左）。ただし、この形のトレードマークの中にも、大きなものもあれば小さなものもあり、手描きの濃いものもあれば薄いものもございます。或は2本の剣が近いものもあれば遠く開いたものもあります。また刀長の「そり」の強いものもあれば弱いものもありますし、鍔の下側が「止められている」ものもあれば「流されている」ものもあります。これらの違いをもって、真贋を説明する方がいらっしゃいますが、こうした違いは真贋の判定にはあまり役立ちません。真贋判定は磁胎、グレイズ、トレードマークとそれ以外のマーキングの検査、絵付のクオリティーチェックに加え、Provenance（作品の経緯・由来）も含めた総合判断が大切になります。



「アンダーグレイズのコバルトブルー、二本のクロス・スウォード（頭付き）」（左）。適切な光りを照らしてやりますと、多くの場合マークの上で釉薬に変化が起きていることが分かります。トレードマーク付近の釉薬中に含まれる気泡が均一で贋作を作るための不正な処理がなされていないことを確認（中）。マイセンの使用するコバルトブルー絵具上にできる釉薬中の気泡の性質検査（右）。その他、

形の違う「アンダーグレイズのコバルトブルー、二本のクロス・スウォード（頭付き）」についても真贋検査を実施。

## （2）表面反射・透明度・エンボス



今回普段は英國窯の作品を取り扱う私どもがマイセンに傾倒いましたきっかけはチャーチー・コレクションの質の高さにございました。まず気が付きましたのは表面の艶の素晴らしいです（左）。アンティークものとどうしても釉薬に擦れが見られ、細かなひっかき傷やヒビ・カケなどの瑕疵が伴いがちなのですが、今回ご紹介いたします作品の多くはそうした瑕疵を最小限に抑えています。もちろん現代品でもございませんし、新品でもございませんので、ここかしこに小さな瑕疵は見つかるのですが、全体として優れた状態です。また、多くの作品で磁胎のきめが細やかで透明度が高く（中）かつエンボスが施されているものではその深さと細かさがみごとです（右）。このエンボスの付いたパターン「新Brandenstein（1744年開発）」は極めて人気の高かったパターンですが製造が難しいために、現代では特別注文以外では製造されません。平坦でエンボスの付かない作品にくらべますと、アンティーク市場でもなかなか数の出ない大変人気の高い作品です。

オンラインショップとその写真ではこうした素晴らしさを表現いたしますのには限界がございます。私どもの主観的な判断にはなりますが、上記の要素を総合的に判断し、作品をS, A, B, およびCランクに分類しております。

## （3）華絵・蟲絵、およびそのバランス



このたびご紹介させていただきます作品群の中で何といって嬉しいのはその華絵の素晴らしさでしょう。現代においても「手描き」をうたい文句にしているマイセンですが「大きな華絵を描くこと」＝「難しい、絵付師を育てるのに時間がかかる、コスト高」ですので、華絵が小さかったり、少なかつたり、ブーケが無いものが多くなっております。定型化された小さなイラストのような華絵が多いのが現状です。それに比べこちらの作品の華絵は中心に大きなブーケがフリーハンドで描かれております。しかも、一点一点、アーティスト（絵付師）の裁量に任せてデザインがかなり違います。これは標準大量生産をビジネスモデルとする現代ではまねのできない日常工芸・芸術の世界です（英國アンティークスはいつもこうした日常芸術の保全に力を入れております。この関連で、サステナブル・プライシングについてもご理解いただけましたら幸いです）。お客様のお求めになられるお品物は世界でただ一点しかない、小さな芸術品でございます。

また、今回ご紹介いたします作品の多くには「蟲」も描きこまれています。これは1800年代中盤に流行いたしましたデザインでございます。英国ではヴィクトリア女王が大変お好みになられたデザインでした。ハンガリーの名窯ヘレンドはこの伝統を未だに踏襲していますが、マイセンでは今となっては珍しい過去のパターンとなっています。その分アンティーク・マイセンをお求めのお客様には人気が高くプレミアムが付いております。また、蟲を楽しそうに或は優雅に「飛ばせる」ことのできた絵付師とその作品には更に高いプレミアムが付いたと言われます（上の右の写真ご覧ください）。

こうした華絵と蟲絵の良し悪しはお客様の趣味とご判断によるものです。しかしながら、それぞれのアーティスト（絵付師）の特徴や技量の違いという側面もございまして、私どもではそれぞれのアーティストについて出来る限り詳しく調べてあります。

## ATTENTION (詳細ご注意事項)

### (1) 種類とサイズ

今回ご紹介いたします作品の多く(チャーチー・コレクション)はマイセン社で「新Brandenstein」と分類されているパターン(1744年開発の大変手の込んだ人気の高いもの)で、現代ではレア物となっておりますが、幸い大量に入荷することができました。

カップ類に関しては数の多いものは以下の3種類でございます(写真では上の左の写真)。やはり、それぞれサイズに5~10%の違いがございますのでご了承くださいませ。

★ 幻のマイセンモーニングカップ: 口径約10cm/ 12cm (ハンドルを含む)

高さ約5・5cm

ソーサー幅約15cm・高さ約3・3cm

極めて大きくしっかりしたモーニングカップで極めてまれな作品のため、時として「幻の」との形容詞が付くこともあるほどです。紅茶にもコーヒーにもお使いいただけます。「これがマイセンのアンティーク・カップか!」と実感できるアンティーク感満点の作品です。

★ コーヒー/ ティーカップ: 口径約7cm/ 9cm (ハンドルを含む)

高さ約7cm

ソーサー幅約14/15cm 高さ約2/3cm

(注意: ソーサーに大・小の違い有り)

★ エスプレッソ/ ハーブティーカップ: 口径約6・5cm/ 8cm (ハンドルを含む)

高さ約3・5cm

ソーサー幅約10・5cm・高さ約2cm

コーヒー/ ティーカップは、極めて堅牢かつ華絵の素晴らしいものです。エスプレッソ/ ハーブティーカップは小さく可愛らしい作品で人気が高く数が少なくなっています。

プレート類につきましては次の物がございます(サイズはおよその目安です。手作りアンティークのため個々にサイズが少しずつ違います。1cmほどの誤差はご想定ください)。

★ 24・5cm (高さ5cm) ディスプレー/ スープ・プレート (注)

★ 24・5cm (高さ4cm) ディスプレー/ ディナー・プレート

★ 21cm (高さ3cm) ケーキ/ サイド・プレート

★ 15cm (高さ2cm) ケーキ/ サイド・プレート (下記カップのトリオ用として最適です。)

★ 11・5cm (高さ2cm) ピンディッシュ



24・5 cm（高さ5 cm）ディスプレー／スープ・プレート（左写真手前及び真中写真）はもちろんスープ皿として実用していただけますが、多くのお客様がキャビネットやテーブル上のディスプレーにお使いになられると思います。通常のディナー・プレートよりも凹凸、重量感・存在感がありますので、ディスプレー用としておススメです。

他の作品も色々ございます。上記はチャーチー・コレクションで多数入荷できたものを出来るだけ標準化してお客様の便利に供したものでございます。それぞれのプレートやカップ&ソーサーで微妙な違いがございますので、詳細はそれぞれの作品のショップページ・商品詳細欄や写真で必ずご確認くださいませ。

カップとそのソーサーの組み合わせにつきましては、工場出荷当初は製造ロットやアーティストが一致していたものと思われますが、今回ご紹介させていただきます作品のすべてにおいてそうした整合性が保証されるものではありません。これは工場出荷の時から複数のペアが大量に出荷され経年チャーチー・エstate内での実用があったためです。中にはソーサーだけ割れてしまったがために追加購入したり、他のソーサーをもって代用したりしたケースが考えられます。もっとも、一般にアンティークマーケットで出品されるほとんどの作品はもっと複雑な経緯をたどり、全く性質の異なるカップとソーサーが組み合わされているということがままあります。この点、チャーチー・コレクションはプロヴァンスがはっきりしているため、カップ・ソーサー整合性がずっと高くなっています。ご覧いただけます通り組み合わせがあまりにもちぐはぐでおかしいなどということはないと思いますが、お気になさるお客様がいらっしゃるかもしれませんので念のため申し添えます。

## (2) 製造上及び製造後の小さな瑕疵



上の写真左は小さな灰のあとで、工場出荷までに起こる小さな瑕疵、焼成の証です。真ん中の写真は、高台裏（或は畳付）付近に生じた小さなカケ（チップ）でございます。これは経年実用のうちに生じた瑕疵であると思われます。裏側にあるもので、通常見えませんので大きな瑕疵ではありませんが、気になる程度のものには付箋を貼り示しております。同様に、右の写真は経年実用のうちに生じた金彩の擦れでございます。

上の左の写真をご覧くださいませ。オレンジ色の付箋の先に小さな黒い点がご覧いただけますでしょうか。これは焼成時に灰が降ったあとでございます。現代のプロダクションではこうした「焼成の証」も見られなくなりましたが、100年以上前の多くの手作りの作品にはこのようなマークが普通に観察されます。その他、小さな釉薬の気泡のはじけたあと、釉薬の厚い部分と薄い部分のムラ、金彩の表面のざらつき、絵具や金彩の垂れこぼし、エンボスの深いものと浅いものの差、シェイプ全体の歪みなどがございます。私どもではこうした製造時のアンティークの証はアンティークの味であり瑕疵とはみなしませんが、お気になるお客様の便宜を図り気が付きました限り印をつけてお知らせするようにしております。

これに対しまして、真ん中と右の写真は、工場出荷後の瑕疵でございます。真ん中の写真は経年実用のうちに生じた高台におけるチップを示しております。右の写真は金彩の擦れを示しております。私どもの取扱い作品はアンティーク品で、新品ではございませんので程度の差こそあれ「擦れが確認されます」ことを通常・前提にお考えください。チャルシー・コレクションは全体としてコンディションが良く、非常に綺麗なものが多いのですが、擦れが目立ちますものにつきましては、その作品の中でも一番悪い方の部分を拡大してお示ししております。（また数は少ないのですが、過去に小さなチップが入りそれを修繕したものもございますので、そうした作品につきましても付箋を伏しまして拡大表示いたしますとともに、お求めやすい価格でご提供申し上げております。貴重なアンティーク芸術品で、全体としての価値は十分ございます。どうぞ作品保全にご協力くださいませ。）

英国アンティークスではこうした要素を総合勘案いたしまして、作品のグレードを S（金彩や絵柄の擦れの少ないもの）、A（金彩や絵柄の擦れは確認されるが、全体として綺麗なもの）、B（金彩や絵柄の擦れが少し気になるもの）、及び C（金彩や絵柄の擦れがきになる、或は製造後の瑕疵

の大きいもの、修繕のあとが確認されるもの)に分類しお客様の便に供しております。(ただし、金彩や絵柄の擦れの状態が同じでも絵付の優劣により、或は他の要因により、格上げしたり格下げしたりしています。英国アンティークスの主觀でございますが、参考までご利用くださいませ。)

### (3) 写真の色あいについて

これはネットや通販でアンティークを扱う者の限界でございますが、作品によりましてはお客様がコンピューター、スマートフォン、PDFでご覧になっている写真と実際の色合いにかなりの差が生じることがございます。色合いは撮影時の光の具合・コンディションや角度、お客様のモニターの設定、プリンターの調整などによってかなり変わることが知られております。この不便を解決いたしますには(1)一つには現在のマイセン社ホームページ上で「マイセン・ローズ」の花のピンク色と枝葉の緑色をご覧になり、華絵の基本色の色合いを感じていただくことです。ご覧の通りこのページでもピンクや緑に色の違いが見られますが、平均的な色合いがお分かりいただけだと思います。私どもの確認したところでは華絵の色合いは今も昔も比較的似ておりますのでご参考くださいませ。(2)もう一つは、同様に、私どものショップページでも多くの作品をご覧いただき、平均的な色合いを感じていただくことです。コンピューターやスマートフォンのモニターでは色が濃く・強く・発色よく出ることが多いようですので、この点もご勘案くださいませ。

もう一点、写真についてお伝えしたいことがございます。私どものショップページの写真は単に作品のきれいなところだけを表現するために掲載しているのではありません。例えば、私どもでは華絵の絵具の付け具合をお感じいただきたいがために、少し逆行気味に花の拡大写真を撮っております。磁器表面の絵具の塗り具合をお感じください。

同様に、マイセンのトレードマークに付きましてもカップに付されたものとソーサーに付されたものを同時に撮影した写真に加え(この写真により上記「カップ・ソーサー間の整合性・非整合性」の確認が可能です)、もう一枚逆光の接写を取り入れております。これは、適切な焼成を経ますとトレードマーク上の釉薬はある一定の変化を見せますので、「その変化が起きていることを確認しました」という私どもの「検印」のようなものです(お客様におかれましてはその見方をご理解いただく必要はございません)。どうぞ、ご安心してお買い物くださいませ。

以上、チャーチル・コレクションのご紹介でございました。マイセンのアンティークをセットでお求めになると良い機会であると存じますので、複数の作品のご購入をご検討のお客様はご遠慮なくメール([info@eikokuantiques.com](mailto:info@eikokuantiques.com))にてご連絡くださいませ。それではどうぞ、楽しいお買い物をお楽しみくださいませ。